

創造する 街と産業

千葉県北西部の東葛6市

放射能対策

ベッドタウンの人口減少

千葉県北西部に位置する我孫子、柏、鎌ヶ谷、流山、野田、松戸の6市。東葛地区と呼ばれるこのエリアは、東京在勤・在学者のベッドタウンだけでなく、特色のある中小企業が多く立地する産業集積地の顔も併せ持つ。東日本大震災の発生以降、エリア内で高い放射線量が観測され、ホットスポットの言葉とともに将来への不安が増しているが、持続的な成長、発展を遂げるためにも、人口、産業の流出は食い止めなければならない。6市長のメッセージを交え、各市の放射線対策や産業活性化のほか、次代に向けた街づくりで注目が集まる柏市の葉キャンパス地区の動きをレポートする。

影響を懸念する住民の一部に転出の動きがみられている。7月の6市の合計人口は、前年同月比で約5000人減少し、「放射能問題が減少につながった感はある」（松戸市放射能対策課）と話す。

人口減少は地域経済の停滞にもつながる。地元企業にも転出の動きが広がれば、東葛地区を支えてきた産業基盤は揺らぐ。最悪の事態を防ぐため、各市は放射能対策に全力で取り組んでいる。

不安払拭に全力

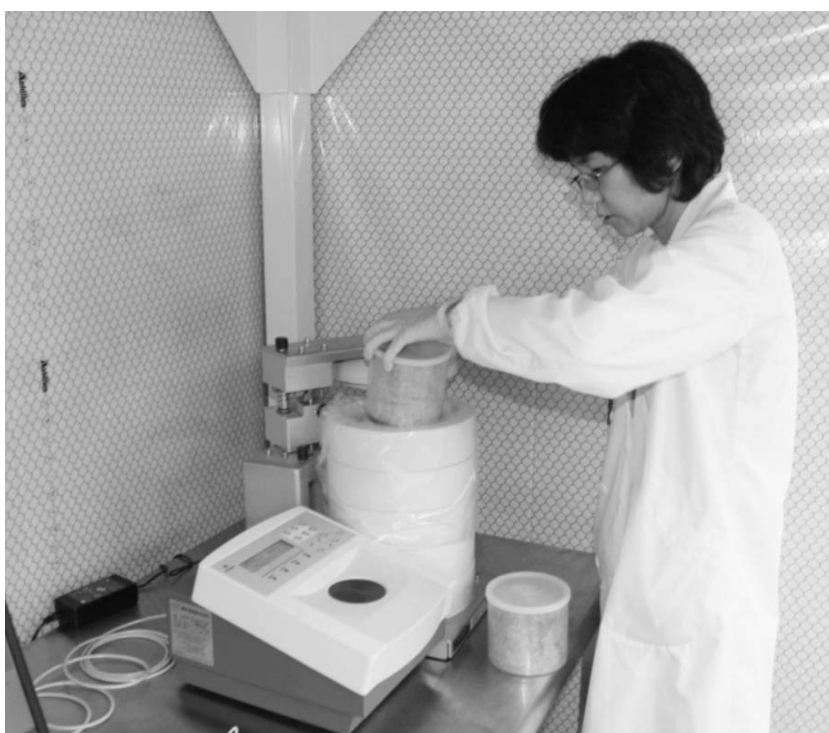
除染活動進めマニュアル作成 食品などの放射線量を測定

東日本大震災だった。軒並み震度5以上の揺れをもたらしたが、内陸のため津波などの襲来は免れた。だが、柏市内で高い放射線量を観測する地域が出て以降、放射能による

各市で独自の対策を実施

高い放射線量を観測する「ホットスポット」が見つかった地区中央部の柏市は、除染活動の実施

に加え、住民の除染活動の支援に取り組む。作業に必要な消耗品を提供するほか、市職員を除染アドバイザーとして養成した。市の確かなアドバイス



我孫子市が実施する食品の放射線量検査には、市民からの依頼が相次いでいる



鎌ヶ谷市内で企業誘致の土壌を整えつつある新鎌ヶ谷地区

通じて、市民と協働して除染を進めている。

また、6月に冊子「子どもと未来のために」を配布。個人でできる除染方法を掲載し、除染に取り組むための情報を提供する。ホームページ（HP）でも閲覧可能だ。隣の流山市も、「市民のための除染マニュアル」を発行している。

総合的な計画 情報交換も

HP以外にミブログ「ツイッター」でも空間放射線量を毎日公表しているのが、地区内最大の人口を抱える松戸市。参加交流サイト「フェイスブック」でも試験的に公表を始めた。6月には「放射能対策総合計画」を作成。健康管理など4テーマの実施工程を明文化した。「除染に限らない総合的な計画を構築」（松戸市担当者）した。

我孫子市も同様の計画を9月に開始する予定だ。各市は放射能対策の情報交換会を2カ月に一度

放射能は、蓄積されて被害が表れる。危機感を抱いた地区北端の野田市と、南部の鎌ヶ谷市は「子どもと未来のために」を公表し、良い試みがあれば積極的に導入（鎌ヶ谷市担当者）している。各市とも、現時点で除染を完了させる。鎌ヶ谷市は学校などを独自の除染区域に指定して除染を始め、給食に含まれる放射



また、我孫子市では、喫緊の課題である放射能対策を市民の皆さまと協力して進めています。特に除染については、子どもたちの生活空間を最優先し、小・中学校の除染を8月までに完了させるほか、遊び場である公園も順次行っています。民有地については、子どもがいる世帯を優先に放射線量を7月より開始し、市全体の放射線量の低減に取り組んでいます。

我孫子市 星野 順一郎市長

今後とも安全・安心で、活力あるまちづくりを進めていきますので、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



柏市 秋山 浩保市長

柏市では、地域の課題を自ら解決し、地域の活性化や雇用の創出に繋げていくため、規制の特例措置や税制・財政・金融上の支援措置等が受けられる総合特別区域及び環境未来都市制度の申請を行い、昨年12月に内閣府の指定を受けました。環境・エネルギー問題、超高齢化社会問題、都市経営という三つの課題解決に取り組んでいます。中心市街地の再開発等ハード面

市民と共に安心のまちづくり



鎌ヶ谷市 清水 聖士市長

鎌ヶ谷市は、東日本大震災に伴う原子力発電所の事故により国の汚染状況重点調査地域に指定されました。小中学校の校庭や公園等の空間放射線量の定期的測定のほか、独自対策として、除染目標を毎時0.23マイクロシーベルト、積極的な除染を進めております。

今年度は、これらの強みを最大限に生かし、地域経済やまちの活性化を図るため、企業誘致基本計画及び観光ビジョンを策定する予定です。最後に、本市を取り巻く経済環境は日々変化しておりますが、市民の皆さまとともに、産業の振興・発展に向け、全力で取り組んでまいりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

強みを生かした産業振興を

環境試験器・熱処理機器の総合メーカー **FUTABA**
遠赤外線加熱装置
Creative Environment Simulation Technology
遠赤外線の特性を三葉科学独自の制御技術にて
効率良く熱処理。インラインに最適。
各種用途に対応
□ タイヤラバー等の歪み除去
□ 樹脂成形品のアニール全般
□ 抵抗、導電ペーストの乾燥
□ 接着剤の硬化、安定等
株式会社 三葉科学
営業本部 TEL 04-7141-2100 FAX 04-7141-2110
〒277-0852 千葉県柏市旭町1-12-1
www.futaba-kk.co.jp

「光デバイス用ニューガラス」と「薄膜」で「光の時代」に挑戦する **OKAMOTO GLASS Co., Ltd.**
21世紀は「光の時代」
特殊ガラスと薄膜で常に光の時代をリードする。
硝材開発・精密成型・薄膜技術の3つの技術力で、「プロジェクター用反射鏡」と「歯科治療用デンタルミラー」の2つの世界シェアNo1製品を生み出す「岡本硝子」のものづくり
創業83年の歴史と技術
〒277-0872 千葉県柏市十倉330番地
Tel: 04-7137-3111(代) Fax: 04-7137-3112
http://www.okamoto-glass.co.jp
E-mail: info@okamoto-glass.co.jp
特殊ガラスと薄膜で光を科学する

移動できるからまた使える。
三協フロンテアは「モビリティスペース」で
資源循環型社会の実現を目指します。
建設現場事務所 コインランドリー 植物工場
ユニットハウス・トランクルーム・立体式駐車装置・植物工場の製造・販売・レンタル
三協フロンテア株式会社 JASDAQ 1999
千葉県柏市新十倉2番地 TEL:04-7133-6666(代) www.sankyofrontier.com

大量捕獲・大型捕虫器
スマイル君 SS-20型
◆環境浄化(脱殺虫剤)に協力します!
強力吸引・大型捕虫器
ゴルフ練習場用
いやーな害虫を根こそぎ取る!
お客様に快適なプレー環境を提案します!
SHU SAN 株式会社シューサン
〒270-1403 千葉県白井市河原子254-2(白井工業団地内)
TEL 047-468-8020 FAX 047-468-8021
E-Mail: suiton-shusan@water.ocn.ne.jp URL: http://www.shusan.co.jp

スリープタッチ方式と精密マルチコート
機能膜フィルムシート
製造装置
光学用フィルム・リチウムイオン電池隔膜
太陽光発電用封止材等のフィルム製造装置
千葉機械工業株式会社
〒277-0872 千葉県柏市十倉217
TEL 04-7136-9111 FAX 04-7136-9115

半導体製造装置・MEMS製造装置・FPD
製造装置・Roll to Roll連続処理装置
瀬戸技研工業株式会社
URL: http://www.seto-eng.co.jp
E-mail: kashiwa@seto-eng.co.jp
● 本社・工場 〒277-0034 千葉県柏市藤倉上人塚前962番地
TEL 0471-74-2331(代) FAX 0471-74-7771
● 東海工場 茨城県那珂市東海村平原南部工業団地3129-1
〒319-1112 TEL 029-282-0666(代) FAX 029-282-0721
● つくばテクノセンター 茨城県稲敷郡阿見町星の里13番1
〒300-0326 TEL 029-840-3311(代) FAX 029-840-3221

フェライトキャリア、各種鉄粉、脱酸素剤、等の製造・販売
POWDER (コピー機・プリンター用、粉末冶金用、カイロ用、化学還元用他)
パウダーテック株式会社
代表取締役社長 隅田 洋
本社工場 〒277-0872 千葉県柏市十倉217 ☎04(7145)5751(代)
FAX04(7146)1445

環境にやさしい自動レーザーグラフィック版システム
New FX 新製品
6400dpi 対応版登場!
省エネルギー
インキ、エネルギー、スペース
17%節電対応
出展します!
TOKYO PACK 2012
CEATEC JAPAN 2012
THINK LABORATORY Co., Ltd.
株式会社 シンク・ラボラトリー
〒277-8525 千葉県柏市高田1201-11
☎ 04-7143-4760 Fax 04-7146-0566
http://www.think-lab.com e-mail: think@think-lab.co.jp

ベンチャー・中小企業を支援
www.sangyojin.jp
千葉産業人クラブ
〒260-0028 千葉市中央区新町19-13
(日刊工業新聞社 千葉支局内)
TEL.043-245-2711 FAX.043-245-2712